

密かな燃えるような幸福。



恋



の



病



Maladie
d'Amour

ナスターシャ・キンスキー
ジャン＝ユグ・アングラード
ミシェル・ピコリ

製作マリ＝ローレール 監督ジャックドレー 脚本・台詞タニエル・ド・ブロン
音楽ロマン・ムスマツラ 撮影ジャン＝フランソワ・ロバン 衣装カトリーヌ・コルス
特別出演ジャン＝クロード・ブリアリ、スヴ・アミツ
フランス映画(カラー)1987年 配給 俳優座シネマテ

い

ボルドーを舞台に、一人の若く美しい女性と 二人の男性が織りなす愛の物語。 華麗なファッションのナスターシャ・キンスキー、 「ベティ・ブルー」のジャン＝ユグ・アングラード、 そして名優ミシェル・ピコリ主演。

物語

美しいジュリエットをめぐる、愛を争う二人の男性——癌の権威であるラウル・ベルジュロン教授と、野心に燃える若き医師のクレマン。彼らは彼女に会った瞬間、恋におちてしまった。

二人の男に同時に愛されたジュリエット。恋にとらわれた男と女は、苦悩し、翻弄される。この世に恋の病いほど苦しい病気があるのだろうか。

彼女のためならば何事も辞さないラウル。愛と野心という二律背反に揺れるクレマン。その狭間で引き裂かれ、疲れきったジュリエットが本当の愛から目を背けた時、心に代わって肉体が、隠された苦しみや感情を語り始める。彼女は病気に触まれていったのだ。

しかし、いくら治療を重ねても彼女の病気は一向によくならなかった。

もはや彼女を救うのは医学の力ではなく、生きる力を与える愛なのではないだろうか。

〈スタッフ〉

監督……………ジャック・ドレー
脚本・台詞……………ダニエル・トンプソン
音楽……………ロマーノ・ムスマツラ
撮影……………ジャン＝フランソワ・ロバン
衣装……………カトリーヌ・ゴルヌ

〈キャスト〉

ジュリエット……………ナスターシャ・キンスキー
クレマン……………ジャン＝ユグ・アングラード
ラウル・ベルジュロン……………ミシェル・ピコリ
ラウルの義弟……………ジャン＝クロード・ブリアリ
ファリダ……………スワード・アミドゥ

●監督は「ボルサリーノ」「水の中の小さな太陽」などエンタテインメント作品に定評のあるベテラン、ジャック・ドレー。

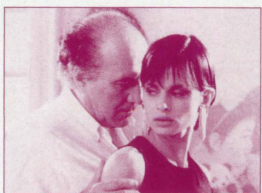
●撮影は「ベティ・ブルー」のジャン＝フランソワ・ロバン。

●音楽はジャンヌ・マス、ステファニーらのプロデューサーとして有名なロマーノ・ムスマツラ。

●衣装はナスターシャのコケティッシュな魅力を存分に引き出している、「ハーレム」(Ⓔ)でセザール賞を受賞したカトリーヌ・ゴルヌ。



恋の病い



ジュリエット

(ナスターシャ・キンスキー)

清純な少女の側面と官能的な女の顔を合わせもち、アニエスB、ドロテ・ビスからオートクチュールまで着こなすジュリエット。

彼女を愛する二人の男性にとって、彼女は不可解でとらえきれない存在だった。そして彼女自身も、愛と感情の中でさまよう女性である。

しなやかな肢体と挑発的な瞳を持つナスターシャにはピッタリの配役であり、本作ではセザール賞主演女優賞にノミネートされた。



クレマン

(ジャン＝ユグ・アングラード)

ジュリエットへの愛と、エリート医師としての生き方の間で揺れ動く男クレマン——。

演じているジャン＝ユグ・アングラードは「サブウェイ」「ベティ・ブルー」などでセザール賞候補にもなった演技派で、フランスを代表する若手スターである。その風貌の中に彼の才能と魅力が息づいている。

ラウル

(ミシェル・ピコリ)

癌の権威であり、クレマンの師でもあるラウル・ベルジュロン教授。彼は金も地位も名声もあるが、愛のない生活を送っていた。

ある日彼はジュリエットに出会い、一目で激しい恋におちた……。

1987年／カラー／フランス映画／118分
配給＝俳優座シネマテン

絶賛上映中!夏休みロードショー

PARCO
スペースパート3 (477)
5858

●渋谷バルコバート3・8F

連日	12:00	2:20	4:40	7:00
----	-------	------	------	------

六本木・俳優座劇場内
俳優座シネマテン (401)
4073

7/19～31、8/10、19～21、23～26は夜10時

8/1～9、11～18	11:30	1:50	4:15	7:00	9:15
-------------	-------	------	------	------	------

●シネマテンのみ8月22日休映